

平成28年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

ウーリークラブ ～吉備の里山で子育て～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備の里山での活動や、講師による子育てに関する講義を受けることで、幼児期の体験活動や基本的な生活習慣を身に付けることの重要性を知る。

2. 事業の概要

(1) 期日

第1回 10月10日（月）（日帰り）

第2回 11月23日（水）（日帰り）

第3回 12月17日（土）～12月18日（日）（1泊2日）

第4回 2月4日（土）～2月5日（日）（1泊2日）

(2) 参加者

① 募集対象・人数

幼児（未就学の4、5、6歳児）とその保護者（10家族）
全4回に参加できる家族

② 参加人数

第1回 51人（登録家族 14家族）

第2回 47人

第3回 47人

第4回 42人

(3) 講師等

第1回 岡山県シェアリングネイチャー協会 永井義彰氏

第2回 NPO法人岡山市子どもセンター代表理事 美咲美佐子 氏

第3回 NPO法人ほっとはあと理事・保育士 隅田浩美 氏

第4回 NPO法人岡山市子どもセンター代表理事 美咲美佐子 氏

(4) 企画・運営のポイント

- ① 子育てに関する学びを継続して学習できるように、また家族間交流が図れるように4回シリーズの事業として計画をし、前半2回を日帰りにすることで、緩やかに交流できるように企画した。
- ② 幼児を対象としていることから、乳児の弟妹をもつ幼児も参加しやすくするために、プログラムに応じて託児を設けるようにした。
- ③ 昨年度の企画でも好評であった家族のシンボルとなる木（ファミリーツリー）をプログラムに組み入れ、毎回観察をしたり、その近くでの体験活動を設定したりすることで、季節や生命の成長を感じ、ウーリークラブへの参加意欲が高まるように企画した。
- ④ 来年度のウリソツクラブへつながるように、第4回目は、ウリソツクラブのメンバーと交流が深まる内容（仲間づくりゲームや宝のこぼれ集めなど）を企画した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回 10月10日(月)			
9:30	受付	13:00	ファミリーツリー
10:00	はじめましての会	14:00	ネイチャーゲーム
11:00	きびを探検しよう		(岡山県シェアリングネイチャー協会 永井義彰氏)
12:00	昼食(お弁当)	16:15	またねの会

第2回 11月23日(水)			
9:30	受付	12:00	昼食
10:00	お久しぶりねの会	13:00	ファミリーツリー
10:15	保護者プログラム (講師 NPO岡山市子どもセンター代表理事 美咲美佐子氏～幼児期の子どもと体験活動～)	13:30	ツリーイング(指導 遊木皆)
	子どもプログラム (冒険ハイキング)	15:45	またねの会

第3回 12月17日(土)～18日(日)			
13:30	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
14:00	お久しぶりねの会	7:45	朝のつどい・朝食
14:30	ネイチャーゲーム (岡山県シェアリングネイチャー協会 永井義彰氏)	9:00	おもしろ自転車
17:15	夕べのつどい・夕食	10:00	保護者プログラム (講師 特定非営利活動法人 ほっとはあと理事・保育士 隅田浩美氏～子どもは「生き生き」してる?～)
19:00	入浴・読み聞かせ		子どもプログラム (吉備の森で自然遊び)
20:30	情報交換会	12:00	昼食
22:00	就寝	13:30	ファミリーツリー
		15:00	またねの会

第4回 2月4日(土)～5日(日)			
13:00	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
13:30	お久しぶりねの会 (ウーリークラブ)	7:45	朝のつどい・朝食
14:00	はじめましての会 (ウリソツクラブ) 保護者プログラム (人間関係作り ウリソツクラブのメンバーとともに) 子どもプログラム (宝のことば集め ウリソツクラブのメンバーとともに)	10:00	保護者プログラム (講師 NPO岡山市子どもセンター代表理事 美咲美佐子氏～体験活動を通して子どもを育てる～) 子どもプログラム (遊んで身につく36の動き)
17:15	夕べのつどい・夕食	12:00	昼食
19:00	入浴・読み聞かせ	13:30	ファミリーツリー
20:00	情報交換会	14:15	ウリソツメンバーと交流
22:00	就寝	15:00	またねの会

(2) 活動の状況



【はじめましての会】



【きびを探検しよう】



【ファミリーツリー】



【ネイチャーゲーム】



【子どもプログラム】



【ツリーイング】



【保護者プログラム】



【仲間ゲーム】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：95% やや満足：5%

(2) 参加者の声

- ① 子育て講義や他の方の考え方で新鮮なものがありませんでした。子どもへの対応へのヒントが多くありました。
- ② テレビ、ゲームのない環境にいても、子どもたちは全くそのことを話もせず、自然に遊びに熱中していることにびっくりしました。環境づくりが重要だと感じました。

(3) 成果

- ① 吉備での自然体験活動が、家庭での体験活動の増加につながった。
- ② 講義を通して子育てと体験活動の重要性について改めて考えるよい機会となった。
- ③ 4回シリーズとすることで、家族間の交流が深まりが見られた。

(4) 今後の課題

より多くの家族が参加できるように、広報先の工夫に取り組みたい。

担当：企画指導専門職 瀧田 正宏